

1 事業名

A-2 歩いて暮らせるまちづくり

地域と大学の連携によるウォークブルスペースの創出
～通過する駅前から、歩行者の居場所への転換～

2 事業概要

- ・本事業の目的は、南草津駅周辺の歩道や公園の利用実態を空間認知及び環境心理学の視点で調査分析し、その結果を踏まえて課題を整理し、公共空間の利活用及びリニューアルのアイデアと、その実現方法を提案することである。
- ・具体的には、現地調査や事例調査を踏まえ、草津駅周辺の公共空間を対象にした計4回に渡るワークショップを開催し、対象地に対する課題の整理、公共空間の利活用及びリニューアルのアイデアについて話し合いを行った。
- ・さらに、実際にワークショップ時に現地で上記アイデアを実践することで、今後の課題についても意見交換を行った。

3 事業内容

※欄が不足する場合は、別紙（A4版縦型）を追加してください。

社会実験の必要性

- ・近年では全国各地で、歩いて楽しむことができ、かつ、多様な活動が出来る場所への創出に向け、街路空間を車中心から人間中心の空間へと再構築されている。
- ・これからの南草津においても、賑わい等をイベント時に限らず持続的に確保できる、魅力ある沿道の空間（街を楽しむ使いこなせるウォークブルスペース）の構築が必要である。
- ・そのために、公共空間のリニューアル整備の可能性を検討した上で、社会実験を実施し、その効果や課題を把握した上で、都市再生整備計画に基づいた道路占用許可などの特例制度の可能性を検討することが必要である。

実施場所

- ・現地調査やワークショップの対象エリアは、南草津駅周辺（東口は国道8号線まで、西口は、南草津1・2丁目まで）のエリアとした。
- ・ワークショップ、その他の打ち合わせなどは、主にUDCBKで開催した。

実施方法

- ・アンケート、現地調査、ヒアリング調査および事例調査は、本研究会が中心となって、草津市やUDCBKと相談しながら実施した。
- ・合計4回構成のワークショップについて、寶珍がコーディネーターを務め開催した。班毎のファシリテートは、UDCBKスタッフの協力を得て、学生が記録を行った。
- ・第1回目については、コロナ禍のためオンラインでのセミナー形式とし、その他の計3回は、対面形式で開催した。

実施内容

■事前調査時

- ・南草津駅周辺の居場所に関する質問をアンケート形式で実施した。

■現地調査（現地調査）

- ・朝・昼・夜に、南草津駅周辺の歩道や公園の利用状況（利用者の世代、グループ・個人、利用目的など）の目視調査を行った。
- ・加えて、調査担当者で実際に滞在し、居心地の良さや公共空間の活用法について意見収集を行った。

■ヒアリング調査

- ・ワークショップ中に事業者（オーナー、テナント等）に個別ヒアリングを行った。
- ・また、ワークショップ中に参加者（利用者・地域住民・官公庁の方々）と意見交換を行った。

- ・本研究会で国内外のストリートマネジメントやパークマネジメントなど、プレイスメイキングの文献・事例を調査した。コロナ禍等の影響もあり、他市町村のUDCの現地視察は実施できなかったが、先進事例の現地視察などは必要と考える。

■ワークショップの告知

- ・これまでのUDCBKのまちづくり関係事業への参加者名簿、チラシの配布、SNSを利用した告知等を通じて、利用者/地域住民/事業者（オーナー、テナント等）に参加を呼びかけた。

■ワークショップの開催

- ・寶珍が全体のコーディネートを担い、計4回の構成で実施した。
- ・第1回目は、コロナ禍の影響もありオンラインでのセミナー形式として実施した。本研究会で整理した現地調査と事例調査の結果を紹介し、その後に参加者と意見交換を行った。
- ・第2回ワークショップでは、グループ（計4班）に分かれて、公共空間（歩道空間）及び民地（建物のセットバック空間や1階のスペース）の現地視察を行った。その後、UDCBKで利活用についてアイデアを出し合った（図1）。
- ・第3回ワークショップでは、前回ワークショップの結果を振り返るとともに、南草津駅周辺の利用方法を考えながら、模型で表現してもらった（図2）。
- ・第4回ワークショップでは、前回までのワークショップの結果を振り返り、「実現できる過ごし方は何か」を考え、椅子等の小さな家具を用いながら現地で実践した（図3）。また、その実践を踏まえ、今後の課題等について意見交換を行った。

■報告会

- ・2022年2月16日に、UDCBKにて、本取り組みに関する報告を行った。
- ・その際に、ワークショップ時のワークシートやアンケート内容の分析結果や考察についても報告した。



▲図1 第2回ワークショップの成果物



▲図3 第4回ワークショップの様子



▲図2 第3回ワークショップの成果物

効果測定 of 指標等測定方法

- ・効果測定のため、全てのセミナー・ワークショップ終了時にアンケートを実施した。
- ・ワークショップ中に参加者が記入したワークシートや、意見交換時の録音も行い、各回ワークショップの振り返り時に活用した。

対象者や人数

- ・ワークショップの一般参加者の人数は、各回20名程度であった。
- ・参加者のご所属については、地域にお住まいの方や、官公庁所属の方、南草津駅を日常的に利用している学生など、幅広く見られた。

実施のための費用

- ・主に、ワークショップ等に必要な消耗品（付箋や模型材料などのツール作成用）の購入や、ワークショップの準備およびデータ整理時の人件費（学生アルバイト代）として使用した。

実現のための課題

- ・本事業で開催したワークショップでは、①全体的に日常に関わるアクティビティを大切にしたいという意見が多く見られ、②椅子等の簡易な家具配置や使い方の工夫により、よりよい居場所を整備の実現に貢献できる可能性があることが示唆された。また、③南草津駅周辺の公共空間において、西口・東口などエリアごとの利用方法の特徴も見られた。
- ・上記から公共空間のリニューアル整備に関するアイデアを得られたと考えるが、今後は、特例制度の利用の可能性も含め、日常的に利用できる公共空間目指し、具体的な社会実験実施の計画を進めていく必要があると考える。
- ・また、本事業におけるワークショップの参加者のご所属は、主に南草津駅周辺の利用者であった。事業者の方々には、一部ヒアリングを行ったものの、今後、公共空間の利用方法を考えていく上では、利用者・企業や事業者・官公庁の方々・UDCCBK・大学がより連携して、計画を進めていく必要があると考える。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。（カラー可）

4 事業のねらい、目標に対する到達度の自己評価

■事業のねらい

- ・本事業のねらいは、ワークショップ等で出されたアイデアや提案を基に、①安全・安心に配慮した公共空間のリニューアル整備と、②通過目的から誰もが楽しみながら使いこなすことのできる居場所としての公共空間のための仕組みの実現に向けた調査や社会実験を実施することである。

■事業の目標

- ・本事業の目標は、南草津まちづくりビジョンのとりまとめ、都市と交通のシナリオスタディなどの取り組みに合わせて、以下の2点の実現を目指すことである。
- ①市民・草津市・事業者（交通、店舗テナント、不動産オーナー等）による公共空間の整備や地域活性化を推進するために、それぞれの役割を明確にしつつ、新しいまちづくりの担い手を発掘し、公民連携による推進体制を構築すること。
- ②ハード整備が完了した後の街の維持管理運営、すなわち公共空間のマネジメントを推進するために、その指針となるガイドライン（関係者が守るべき基本方針と公共空間等の利用活用のルールなど）の案を策定すること。

到達度の自己評価

- ・現地調査や事例調査の結果を踏まえ、ワークショップでは、公共空間の整備や地域活性化の推進に向け、公共空間の利用のアイデアをまとめ、現地でアイデアを実践した。以上から「事業のねらい」や、「事業の目標」の①について概ね達成できたと考えられる。
- ・また、現地でアイデアを実践するワークショップ時に、維持管理や地権者、法的制約などを含めた今後の課題について意見交換を行うことができたことから、「事業の目標」の②についても、概ね達成できたと考えられる。
- ・ただし、本事業で実施した現地での実践（社会実験）はごく短い時間帯のものであるため、日常的な居場所の創出のためには、時間帯や平日・休日の差など様々なケースを想定し、可能なものについては検証する必要があると考える。
- ・ワークショップを通して、公共空間の利用のアイデア等をまとめることが出来たが、法的制約や運営・維持管理に関するガイドラインの策定までには至っていないため、今後も引き続き、UDCCBK を拠点に産学公民で連携しつつ、社会実験等の計画を進めていく必要がある。

本事業は、ワークショップ参加者やUDCBKのスタッフ様、草津市役所の方々、研究会メンバーなど多くの方々のご協力により、実現することができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。(カラー可)

5 草津市が支援した事項

今回の事業実施にあたり、草津市に依頼した事項について○をつけてください。

- アーバンデザインセンターびわこ・くさつを研究拠点として提供
- 草津市の公共施設の先行予約、施設および附属設備の使用料の減免
- 公共施設へのチラシおよびポスターの設置依頼
- 市ホームページ、UDCBKのFacebookでの事業の周知
- その他 ※具体的に記載してください

〔 ・ワークショップ時の道路占有許可の申請など 〕

6 事業の実施期間

令和 3年 7月 1日 ~ 令和 4年 2月 26日